# 第14回SaSSOHを迎えて

2026年9月29日から30日にかけて、第14回 Sapporo Summer Symposium for One Health（SaSSOH）を開催しました。本年は、北海道大学創基150周年および獣医学部創立75周年という節目の年でもあります。

SaSSOHは、学生の自主性、コミュニケーション能力、および企画力を育成することを目的として、学生および若手教員が企画・運営する国際シンポジウムです。このシンポジウムは、学生がワンヘルス分野の第一線で活躍する海外の専門家を招いて交流し、最先端の知識を得ることができるとともに、国際的な舞台で活躍するための訓練の機会となっています。また、ワークショップ形式のプログラムも実施し、人獣共通感染症や化学物質によるハザードの現場でリーダーシップを発揮できる専門家を育成する一助となっています。特にStudents Sessionは学生が企画から運営まで行い、楽しみながらもOne Healthに関する重要な知識の習得ができるワークショップ形式の活動です。

2020年の新型コロナウイルス感染症の影響下においてもオンライン形式で開催され、その歩みは途切れることなく現在まで受け継がれてきました。

本記事では、この節目を記念し、第1回から第14回までの歴代ポスターを掲載しています。歴代ポスターを通して、SaSSOHの歩みをご覧いただければ幸いです。




北海道大学創基150周年を記念して、獣医学部キャンパスに設置された『動物のお医者さん』記念パネル。SaSSOH参加者を温かく迎えました。

颯爽 SaSSOH Sapporo Summer Symposium for One Health








































